



【愛知】大企業向け組み込み系エンジニア ※ マネージャー候補 ※

福島から世界へ！日進月歩で最新技術を生み出し続ける優良企業！

募集職種

採用企業名

月電ソフトウェア株式会社

求人ID

1455093

業種

ソフトウェア

雇用形態

正社員

勤務地

愛知県, 刈谷市

最寄駅

東海道本線（熱海～米原間）駅

給与

350万円～450万円

更新日

2026年01月08日 07:00

応募必要条件

職務経験

3年以上

キャリアレベル

中途経験者レベル

英語レベル

日常会話レベル

日本語レベル

ビジネス会話レベル

最終学歴

大学卒：学士号

現在のビザ

日本での就労許可が必要です

募集要項

当社は1989年に創業以来、他社に先駆けてフィリピンにも事業所を構え、約30年間ソフトウェア開発に取り組んでいます。

当社の実績は高い評価と信頼を得ており、デンソーグループのオフショア事業のパートナー企業に認定されています。

今後も質の高い技術力とタイムリーなカスタマーサービスを提供し、お客様の信頼に応え、健全で確実な業績の伸張を目指します。

この度は、共に先端技術を開発していただける方を募集致します。

具体的には。。

◆開発業務：組み込み系ソフトウェア（エンジン制御システム、バッテリー、モーター、インバーター等の制御システム）の開発業務

◆マネジメント業務：日々の進捗管理、メンバーの育成及びお客様の窓口対応業務
大手自動車部品メーカーと関係が深くデンソーグループとは10年以上の取引があります

入社後の流れ・1日の流れ：

《入社後の流れ》

リーダー候補として、まずは業務の流れを把握するところから始めます
その後、2~3名のチームのマネジメントを行います。

《1日の流れ》

毎朝ブリーフィングを行い、プロジェクトの進捗状況や課題をすり合わせながら、プログラム設計やコーディング業務を行います。

ハイブリッド車開発に貢献しています

当社では自動車制御ソフトウェアの開発をメインとしており、国産車両メーカー様向けの、GAS／ディーゼル／EHV車のECU開発に貢献しています。

主な担当領域は、モーター制御機能とインバータ制御機能です。

インバータではバッテリ（直流電圧）とモータ（交流電圧）の変換を担当しています。

日本の未来を支えるハイブリッド車の開発に、あなたも参加しませんか

スキル・資格

必須経験：2年以上のC言語の実務経験

◆今後マネジメントにチャレンジしていきたいという方は歓迎
《ご依頼増加中 メーカーに選ばれている企業です》

こんな方は歓迎します！ マネジメントに携わりたい方

《マネジメント経験者は大歓迎》

幹部候補としての募集のため、PL/PMなど複数名のメンバーをまとめた経験がある方は大歓迎！待遇やキャリア等で優遇しますので、まずは一度お会いしませんか？

雇用形態：正社員

勤務時間：フレックスタイム制（標準労働時間：1日8時間）

※コアタイム／10：10～15：10

※標準労働時間帯／8：40～17：40

・休憩60分

・月平均残業時間：20時間以内

勤務地：愛知県刈谷市昭和町1-1

刈谷駅から徒歩11分

※転勤なし

・初年度の年収350万円～440万円

・給与：月給260,000円～323,000円

※試用期間3ヶ月（条件の変更なし）

※経験・年齢を考慮の上、当社規定により優遇します。

昇給：年1回（8月）

賞与：年2回（7月・12月／前年度実績・計2ヶ月分）

諸手当：通勤手当、家族手当、資格手当、役職手当、海外勤務手当（海外勤務となった場合）

休日・休暇：年間休日121日

完全週休2日制（土曜、日曜）※会社カレンダーによる

GW、夏季、慶弔、誕生日、特別休暇、年末年始、介護・育児、産前・産後、有給休暇（10日～20日）※連続取得も可能

福利厚生：社会保険完備、財形貯蓄制度、永年勤続表彰、保養所、OJT制度、退職金制度

会社説明

地元 福島で「新しい」を生み出し続ける

月電ソフトウェア株式会社は、1989年の創業から官公庁をはじめ、大手通信メーカーや自動車メーカー、金融系企業のソフトウェア開発に尽力してまいりました。

創業時から福島に本社を置き、現在は東京と愛知、そしてフィリピンのマニラを拠点に、現地のエンジニアたちと共により良い製品を生み出すことに、日々、取り組んでおります。特にフィリピンでは、ソフトウェア開発企業のパイオニアとして高い評価を得ています。

日進月歩以上に目まぐるしく変化するソフトウェア業界において、オンサイト、ニアショア、オフショアと国内外の拠点を活用した開発体制を生かしながら、優れた製品を開発し、取引先から信頼を得てきたことは、当社の歴史と誇りでもあります。

これからも「福島」という地場にどっしりと根を下ろし、世界と競い合いながら成長を続けてまいります。